

〈はじめに〉

東京の都市空間は刻々と変貌しつつある。街の雰囲気や表情や様相、人びとの動き、風景や景観、人びとの暮らし、風俗、世相……いずれも時の変遷とともにその姿や様子を変えつつあるというべきだろう。短時日のあいだにすっかり変わってしまった場所もある。東京の下町はいま、どのように変わりつつあるのだろうか。街に出れば、私たちの誰もが時代の動きと世相を肌身で体験することができる。言葉など必要ないくらい、はっきりと私たちは自分の身体で都市空間に見られるさまざまな激しい変貌を感じ取ることができるだろう。都市空間は私たちの生活空間、居住空間、人生の旅の舞台として十分に人間的な表情を私たちに見せてくれているのだろうか。人びとの居場所、身の置きどころがたつぷりと見出されるのだろうか。私たちはどこにいても安全なのか。心身の安らぎをどこで手に入れることができるのだろうか。家庭生活や家族は私たちにとってかけがえのない〈よりどころ〉となっているのだろうか。都市はいまなお《人間にとっての都市》、人間が人間として人生を生きることができる世界といえるのだろうか。現代の都市、現代の東京に私たちはさまざまな疑いをかける必要があるのではないだろうか。

この私たちの研究においては、子どもの日常生活、子どもの遊び、子どもの〈情景〉という視点から東京、下町の都市空間、社会的世界、歴史的文化的空間、人びとが生きている〈日常生活の世界〉へのアプローチが試みられている。〈子どもという人間存在〉に注目したとき、私たちの目に入ってくるさまざまな光景、情景、パースペクティブに注目しながら、人びとが生きている世界と生活の舞台にサーチライトを向けるように試みたのである。都市空間の再生と活性化が急務であることを認めない人びとはいないだろう。

私たちは東京都台東区の三つの小学校に的をしぼって、調査を実施させていただくことができたことを心から感謝している。

浅草小学校

西町小学校

谷中小学校

私たちのこの研究にあたってご協力を得ることができたこの三つの小学校の先生方、児童生徒の皆さんに対して厚くお礼を申し述べたいと思う。

台東区教育委員会の方々、そのほか多くの方々から種々、ご協力、ご援助をいただくことができたことを私たち一同、感謝している。このささやかな研究報告書が台東区の都市空間の整備、再生、活性化、住民生活の向上にあたっていささかなりとも役立つことができれば、まことに幸いと思う。

浅草小学校校長 楠 元尾先生

西町小学校校長 伊藤正輝先生

谷中小学校校長 河口正治先生

そして各小学校の教頭先生ならびに各クラスの担任の先生には特にお礼を申し述べたい。

当然のことだが、子どもたちの日常生活こそあらゆる意味でもっとも尊重されなければならないものではないかと思う。

台東区の三小学校の調査および調査結果の集計、報告書の作成にあたっては慶應義塾大学大学院社会学研究科の院生有志の協力を得ることができたことを幸いと思う。

平成 3 年 2 月

慶應義塾大学

山岸 健